

## 包括環境リスク研究プログラム

委員会の主要意見		主要意見に対する国環研の考え方
現状についての評価・質問など	分かりやすい構成となっており、各プロジェクト間の連携もすっきりとした構成になっている。	プログラムの構成や成果について評価いただきありがとうございます。社会的な要請も強いため、国内外で重要な成果が出せるよう頑張ります。
	NIES のこれまでの研究の財産を発展させた包括的な成果を挙げている。	
	大学などの他機関ではできないチャレンジングなテーマに取り組んでいると評価する。	
今後への期待など	環境汚染物質には同じ生体・環境影響を起こすものが多くあることから、複合汚染を想定した複合的な影響を検出できるようにスクリーニングしていくことが求められている。	環境汚染物質が類似した作用を引き起こすことが多いことから、複合影響評価における Component-Based Approach が重要になっています。複数のパラメータを作成して環境のスクリーニングを進めます。
	化学物質排出移動量届出制度(PRTR)の情報を加味した地域レベルの包括環境リスク評価が実施可能ではないか？	河川における流域事業所の PRTR 情報を参考にして包括的な毒性影響から個別の化学物質を推定することや、PRTR の各指定化学物質のモニタリング結果を照合するような取り組みを合わせて進めます。
	分子鋳型 (MIP) を用いて類似構造の懸念物質群を選択的に捕集精製法は発展性があり、成果を期待する。	本プログラムでは、MIP を用いる選択捕集等の試料側からのアプローチと、ノンターゲット分析データから類似構造物質を包括的に選択するアプローチの両面から研究に取り組みます。